

# 令和6年度 吾妻小学校経営方針

## 1 学校教育目標

- よく考える子
- 明るくがんばる子
- 仲よく助け合う子

## 2 目指す児童像

- 自ら学び 考えを伝え合える子
- 身体をきたえ やりぬく子
- 相手のことを考え 行動できる子

## 3 目指す学校像

- 学び合い高め合う学校………「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体とした「主体的・対話的で深い学び」の授業探求
- 安全で活力のある学校………「自助」「共助」の精神
- 地域と共に歩み続ける学校…地域の財産「自然・文化・人材」の活用

## 4 目指す学級像

- すべての子どもたちにとって居がいのある学級
- 民主的で協力して活動できる学級
- 「主体的・対話的で深い学びの授業」を実現できる学級

## 5 目指す教師像

- 待って迎える教師
- 温かく寄り添う教師

## 6 学校経営方針

教育基本法、学校教育法、学習指導要領、栃木県および佐野市の方針を踏まえ、全教職員の創意と工夫により、教育目標の達成と、将来的に予測困難な未来を自らの力で切り拓くことのできる人財の育成を目指す。

- (1) 教職員一人一人がその使命を深く自覚し、組織の一員として職務の遂行に努める。
- (2) 教職員一人一人が危機管理意識をもち、報告・連絡・相談を通して組織として対応するよう努める。
- (3) 教職員一人一人が常に自己研鑽や共同研究に励み、専門職としての指導力、総合的な人間力などの向上に努める。
- (4) 落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送るための環境をつくとともに、指導と見届けが一体となった学級・学校経営に努める。
- (5) 児童一人一人を大切にし、成長を認め励ましほめることを通して自尊感情を高めるように努める。
- (6) 生命尊重と人権尊重の理念に立ち、豊かな心を培い、自分と人を大切にすることができる児童の育成に努める。
- (7) 児童一人一人が学習に対する意欲をもち、主体的に取り組むことを重視した指導法の工夫・改善を図るとともに、対話や学び合いを大切にした学習の充実に努める。
- (8) 変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくために必要な資質や能力の育成に努める。

- (9) 潤いと落ち着きのある教育環境の整備と教育施設の充実・効果的な活用に努める。
- (10) 学校・家庭・地域の連携を密にし、相互理解と信頼関係に立ち、開かれた学校づくりに努める。
- (11) P D C A サイクルを効果的に活用しながら、常に教育活動の改善に努める。

## 7 学校経営の合言葉

『N・K・G』	<sup>N</sup> 日本一 <sup>K</sup> きれいな <sup>G</sup> 学校にしよう！ ねらい 「環境が人を育てる」のもと、環境整備・美化活動の実践を通して心豊かな児童を育てる。
『AZMAX』	ねらい どんなことでも、あきらめずに最後まで全力でやり抜く児童を育てる。
『A・S・N』	<sup>A</sup> 愛される <sup>S</sup> 先輩に <sup>N</sup> なるう！ ねらい 先輩としての自覚と責任をもち行動できる児童を育てる。

### 『AZMAX』に込められた思い

※「A」はアルファベットの最初、「Z」はアルファベットの最後、「MAX」は「全力」を意味する言葉であることから、『AZMAX』には、「どんなことでも、あきらめずに最後まで全力でやり抜く。そんな人間に成長してほしい！」という願いが込められている。



## 8 今年度の努力点

- (1) 自分の考えをもつことの習慣化（主体性の育成）
- (2) 『N・K・G』プロジェクトの推進
- (3) 地域とつくるコミュニティー・スクールの推進
- (4) 地域の財産「自然・文化・人材」を活用した郷土愛の育成
- (5) 特別支援学級新設に伴う環境整備と職員の理解を深める研修
- (6) 話し合い活動を通じた自治能力の育成
- (7) 気力・体力の向上
- (8) 学校公開、各種たより、学校ホームページ等による地域への情報発信

## 9 特色ある教育活動

### (1) 学力アッププラン

- ア 継続的な家庭学習支援と個別指導の充実
- イ 授業のユニバーサルデザイン化（視覚化・焦点化・共有化の推進）
- ウ 「主体的な授業」「対話的な授業」「深い学びのある授業」の実践
  - (ア) めあて・まとめ・振り返りの実施・表示
  - (イ) 自分の考えをもつことの習慣化

- (ウ) ペア学習＋グループ学習の日常化
- (エ) 「焦点化」「共有化」の研究
- エ ICT や学校図書館を活用した授業の推進
  - (ア) ICT を活用した授業の推進
    - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
    - ・学年別スキルの習得
    - ・教員 ICT 活用指導力の均衡化
    - ・プログラミング学習の推進
  - (イ) 学校図書館を活用した授業の推進
    - ・「朝の読書活動」の推進 ※月曜・金曜
    - ・読書意欲の向上に向けた取組
- オ 地域の財産「自然・文化・人材」の活用
  - (ア) 米づくり、果物づくり、ふるさと学習等
  - (イ) 将来の夢や希望を思い描ける指導の工夫
- カ 特別支援教育の推進
  - (ア) 教育的ニーズに応じた丁寧な支援・指導
  - (イ) 校内支援体制の整備
- (2) 健康いきいきプラン
  - ア 気力・体力の向上
    - (ア) あづまサーキットトレーニングの継続実施
    - (イ) 自己目標を立て、ランランタイム、投力向上月間、なわとび強化月間の実施と各種カードの活用
  - イ 基本的な生活習慣の確立
    - (ア) 早寝・早起き・朝ご飯、歯みがきの推奨
    - (イ) 学校保健委員会の実施
    - (ウ) 生活の「さしすせそ」の確立
      - 「**さ**わやかなあいさつと返事 **し**ずかな廊下 **す**ばやい集合
      - せ**っせと黙って清掃 **そ**ろった下駄箱」
  - ウ 安全教育の充実
    - (ア) 「自分の命は自分で守る」安全教育の計画的実践(交通事故防止、避難訓練 等)
    - (イ) 危機意識を持った施設・設備の安全点検と保全
- (3) 笑顔ハートフルプラン
  - ア 学級経営の充実
    - (ア) 教育のユニバーサルデザイン化
  - イ 『N・K・G』プロジェクトの推進
    - (ア) 環境の『N・K・G』の実現
      - a 教室のユニバーサルデザイン化(教室環境における「場の構造化」「刺激量の調整」「ルールの明確化」「時間の構造化」)の推進
      - b 教室以外(廊下・特別教室・体育館・校庭)の『N・K・G』活動
    - (イ) 心の『N・K・G』への支援
  - ウ 道徳教育の充実
    - (ア) 規範意識(情報モラルを含む)の醸成と道徳の時間の充実
  - エ 人権教育の充実
    - (ア) 人権に配慮した言語環境づくり、教室環境づくり、学習環境づくり
    - (イ) 「いじめゼロ運動」の推進

オ 自治能力の育成

(ア) 児童自身による学級目標と目標達成のためのルール作成・実践

(イ) 認めて伸ばす児童指導

α 小さな良い行為を見つける積極的な善行表彰（桃梨賞）

β 苦手なことにも取り組ませる指導

カ 『A・S・N』プロジェクトの推進

(ア) 児童会や高学年を中心に先輩としての自覚を持ち行動できる児童の育成

α 児童の主体性を生かした集会活動や委員会活動

β リーダーをまとめるリーダーの育成

10 学校研究課題

すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの推進

～対話の中から深い学びを求める授業の創造を目指して～